

レンズをのぞけば アオハル #僕たちの青春

このコーナーは、市内高校生（口加高・島原翔南高）の視点から見た市の風景や出来事などを届けるコラボ企画です。



これは有家総合運動公園の写真です。タンポポの綿毛を見ると春の訪れを感じます。後ろに見えるのは有明海で、天気良ければ対岸の熊本県を見ることができます。この公園はバリアフリー設計で、高齢者や体が不自由な人でも安心して利用できます。皆さんもぜひ訪れてみてください。 (Koka 観光班)

こちらもチェック！
 市Facebook 撮ってくれんね南島原
 口加高Instagram Koka観光班

**いつまでもお元気で
～100歳おめでとう～**

高木 ハルさん(有家町)
大正11年2月23日生まれ



近藤 ハルエさん(西有家町)
大正11年3月22日生まれ



左から近藤会長理事、中村代表理事、馬場理事、松本市長

4 日本農業賞「食の架け橋の部」特別賞受賞

農事組合法人ながさき南部生産組合(北有馬町)が第51回日本農業賞「食の架け橋の部」で特別賞を受賞しました。

3月4日、このことを市長に報告するため、同生産組合の近藤一海会長理事らが市役所を訪れました。

組合に所属する約140人がそれぞれに所有する田畑で土づくりや有機栽培にこだわった独自の農法により、玉ねぎやトマト、バレイショなどを生産。年間を通した直売や通信販売、生協や消費者グループとの連携、加工販売などの先進的な取り組みが高く評価されました。

近藤会長理事は「活動を始めてから47年経つが、生産者のみんなで取り組んできたことが評価されたことをうれしく思う。この受賞を励みにして、農業を元気にできるように努力していきたい」と喜びを話しました。



左から林田局長(口之津大屋)、八木局長(島原)、松本市長、中村局長(堂崎)

5 日本郵便(株)と包括連携協定

2月17日、日本郵便(株)と「包括連携に関する協定」を締結しました。協定により次のことに取り組みます。

- 1 安心・安全な暮らしの実現に関すること
道路損傷などを発見した際の市への通報など
- 2 地域経済活性化に関すること
オリジナルフレーム切手の作成など
- 3 未来を担う子どもの育成に関すること
小中学生の郵便局見学や職場体験の受け入れなど
- 4 そのほか、地方創生および市民サービス向上に関すること
市内郵便局でのポスター掲示による広報活動など

日本郵便(株)堂崎郵便局の中村局長は「郵政創業150年の記念すべき年に、このような協定を締結できたことを大変うれしく思う。地域の皆さまが安心して暮らせるまちづくりへの協力など、地域に寄り添った支援に努めたい」と決意を述べました。

Focus in 南島原 まちの話題

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



1 小嶺監督に荣誉表彰

今年の1月7日、本市の市民で長年にわたり高校サッカー界をけん引してきた長崎総合科学大学附属高校の小嶺忠敏監督が逝去されました。

1968年、母校である県立島原商業高校でサッカーの指導を始め、1977年には同校を日本一の栄冠に導きました。その後、県立国見高校の監督となると全国高校サッカー選手権で最多となる6度の優勝を飾りました。高校サッカー界に輝かしい足跡を残し、本市の誇りである小嶺監督の功績をたたえ、3月20日、南島原市多目的運動広場のオープニングセレモニーにおいて、小嶺厚子夫人に表彰状を贈りました。

小嶺夫人は「大変光栄なことで、本人も喜んでいることと思う。これまで支えていただいた皆さんに感謝したい」と話しました。小嶺監督のご冥福をお祈りいたします。



小嶺監督の主な功績

- 島原商業高校で全国高校サッカー選手権全国大会12回出場
1977年インターハイで九州勢初の優勝
- 国見高校で全国高校サッカー選手権全国大会21回出場
(全国優勝6回、準優勝3回)
- 長崎総合科学大学附属高校で全国高校サッカー選手権全国大会8回出場
- 1988年に長崎県民栄誉賞を第1号で受賞

2001年1月全国高校サッカー選手権で全国3冠を達成したときの小嶺監督



清掃活動中の様子

3 口之津小が環境美化で優良校に

継続して環境美化に取り組む学校を表彰する「第22回環境美化教育優良校等表彰事業」において、口之津小学校が県内で唯一、優良校協会会長賞を受賞しました。同校は地域と連携しながら20年以上、清掃活動を行っています。

2月16日、同校で表彰伝達式が行われ、代表して表彰状を受け取った平 隼都さん(6年生)は「この取組が環境美化の向上につながり、最近はゴミが減ってきている。地域の皆さんも喜んでくれるので、これからもがんばりたい」と受賞の喜びを話しました。



福祉保健部長(左)、イオン九州(株)イオン有家店職員

2 感染症対策にマスクを寄贈

2月25日、イオン九州(株)イオン有家店(松尾 聡店長)が、新型コロナウイルス感染症対策にとマスク7,389枚を市に寄贈されました。

寄贈に訪れた同店の職員は「市民の感染症対策などに役立ててほしい」と話しました。